



中塚先生

環境学の

授業拝見!

理学、工学、人文社会科学、異なる専門領域の学生
がともに学ぶ環境学研究科ならではの授業です。

【今回の授業】 体系理解科目 **温暖化概論** 中塚 武 教授

「温暖化によって、近未来の環境がどうなるか」をテーマに、理学、工学、社会科学の領域を横断してオムニバス形式で行われる環境学研究科ならではの授業です。ガイダンスを含めて全15回。3専攻の教授陣は、温暖化の仕組み、自然環境の変動、社会や産業への影響、近未来の環境予測と政策・展望などを取り上げ、わかりやすく説明します。学生たちも、**自分の専門とは異なる分野の講義を聴くことで、様々な観点から温暖化の影響を理解できると、毎年好評です。**

世間では、「温暖化」について様々な議論があるなか、正しい知識を身に着けることが必要と中塚先生。「温暖化で降水量は増えるのか」「化石燃料の消費のみで温暖化が進むのか」、**一面的にとらえるのではなく、データや、複層的な要因を探ることで、正確に温暖化を理解してほしい**と言います。「学生たちは卒業後、環境問題に対してなんらかのアクションを起こす立場になっていくでしょう。そのとき正確な知識を元にした意思決定ができる人になってもらいたい」と期待しています。



砂漠化について
講義する篠田雅人教授



作田 裕也さん

Sakuda Yuya

地球環境科学専攻 地球環境変動論講座 M1

黄砂とともに飛来する真菌や細菌などの微生物—バイオエアロゾルの研究をしています。この授業では地球温暖化について、その基本知識とともに、広い視野で考えるきっかけをくれます。研究は一つのテーマを突き詰めますが、この授業で得た様々な視点や新しい知識は、やがて研究につながるものだと思います。

頼 鵬さん

Lai Peng

地球環境科学専攻 物質循環科学講座 M1

オムニバス形式の授業が新鮮です。毎回、分野のちがう先生から地球温暖化のいろいろな側面の講義が聴けます。私の研究は「大気窒素酸化物」ですが、「温室効果ガスとエアロゾル」の講義でエアロゾル粒子が温暖化だけでなく、寒冷化の要因でもあると知ったのは驚きでした。新しい知識を得られるのが、この授業の面白さです。

